

平成22年度 第1回花見川区公民館運営審議会議事録

第1 日 時 平成22年6月29日(火) 午前10時00分～午前12時00分

第2 場 所 幕張公民館 講習室

第3 出席者 (委員)(定足数8名>7.5名=15名/2)

出席・・・14名

竹内委員、加瀬委員、鶴岡委員、小嶋委員、吉田委員、大矢委員、東野委員

新田委員、服部委員、鈴木委員、田中委員、實川委員、藤江委員、花島委員

欠席・・・1名

門脇委員

〈事務局〉

笹本館長、松尾副館長(幕張)、渡貫館長(花園)、田中館長(犢橋)、小川館長

(検見川)、小原館長(花見川)、小泉館長(さつきが丘)、小出館長(こてはし台)、

鹿野館長(長作)、石井館長(朝日ヶ丘)、今澤館長(幕張本郷)、永田主任主事

(幕張)

第4 審議会の概要

1 正・副委員長選出

(1) 委員長に新田委員、副委員長に田中委員が選出された。

2 議事録署名人の選出

(1) 實川委員、藤江委員が議事録署名人に指名された。

3 区内公民館事業及び区事業の平成21年度事業報告及び平成22年度事業計画について

(1) 松尾副館長及び各館長より、各公民館主催事業の平成21年度事業報告と平成22年度事業計画を併せて説明した。

(2) 笹本館長より花見川区事業の平成21年度事業報告と平成22年度事業計画について併せて説明した。

4 その他「第51回関東甲信越静公民館研究大会」及び「第62回千葉県公民館研究大会」について

(1) 笹本館長より説明した。

第5 審議会前・事務経過

1 花見川区公民館運営審議会委員へ委嘱状を交付

2 配布資料確認

3 議事進行についての説明

4 傍聴人の入室・・・なし

第6 審議会・会議経過

1 開会のことば（進行 笹本館長）

2 正・副委員長あいさつ（新田委員長・田中副委員長）

3 規定により、議長は委員長、副議長は副委員長が務めることになっており、それぞれの席に着く。

4 議事録署名人として、實川委員、藤江委員を選出した。

5 議題（審議事項）

(1) 承認事項 議案第1号 平成21年度事業報告について（奇数ページ）

(2) 報告事項 平成22年度事業計画について（偶数ページ）一括して、資料に基づき、提案・説明した。

松尾副館長と各館長	各公民館の平成21年度事業報告並びに平成22年度事業計画を説明した。
笹本館長	区事業の平成21年度事業報告、並びに平成22年度事業計画を説明した。
議長	報告事項について意見を求める。
委員	幕張公民館ではサークル、団体と共催でやっているようだが、どういうメリットとデメリットがあるか。
事務局	共催でやっているのは幕張公民館で活動しているボランティア団体であり、メリットとしてはこれからの社会教育の振興上必要として継続的に事業に携わっていただいている。デメリットとしては、企画などの面で先走ってしまうところがあるので、計画の段階で公民館職員が話し合いに参加するようにしたい。
委員	市の財政状況も厳しい中、公民館もサークル等との共催も必要になってくる。サークル以外にも社会福祉協議会、自治会や学校PTA等と共催でやることも考えていただきたい。
事務局	地域の方々ともご協力いただきながら、それぞれの館で練っていきたい。
委員	毎月1日号の市政だよりに公民館の主催事業が載

っていて各館とも苦勞されているようだが、PRはこれだけしかないように思える。もう少し工夫して自治会の許可を得て掲示板に載せたりとか自治会の回覧に主催事業の紹介をするのもいいのではないか。例えば私の近所の公民館の前はバス停になっているので、その前を利用して主催事業の紹介をしたり、図書室があるので図書の新刊を案内したりするなど工夫すれば利用者の裾野が広がるのではないか。

事務局

幕張公民館を例にあげると市政だよりや館内での掲示だけで埋まってしまうことが多いが、先ほどの説明の中でも申込が集まらず開催できなかったものもあったので、今の意見を踏まえながら工夫していきたい。

議長

できることから随時取り入れていただきたい。他に意見はあるか。

委員

年間2回しかない運営審議会は貴重な場でもあるので、説明の時間配分は気をつけてもらいたい。主催事業を市政だよりでPRするのはいいが、結果的に限られた人しか来ない。講座の定員が埋まっていればいいというものではないし、このままではいけないと思う。初めて来た人を優先的に入れるなどそういうところを心がけた方がいいと思う。地域の方と連携するのは大事なことである。予算は他部署でも軒並み削られているようだ。運用の仕方をもう少し考えてもらいたい。あと人員配置であるがそれぞれ一所懸命努力されていることに感謝するが、最低限必要な人員をその館だけで考える必要はないのではないか。10館だったら10ある公民館の中で考えればいいと思う。

委員

今の発言を聴いてこれからの公民館について考えていく必要があるのではないか。予算がないとか人員の配置が悪い影響があるかも知れない。予算は

段々減額されている、ところが公民館で勉強したい
と言う人は団塊の世代で今まで勉強できなかった
からとか、若い母親たちは子育てで困っている、
悩んでいるなど、需要があると思う。10人の館長
さんは公民館というものをどういうふうに考えて
いるのか、これからの公民館をどう立て直したら
いいのか、見据えたらいいのかを議論されているか
とは思いますが、内部でどういう意見が出ているか。

事 務 局

いろいろ議論に出ているように今まで我々が経験
したことのない厳しい予算ではあるが、地域住民と
協働で公民館を活性化していけたらと考えている。

委 員

まだそういうところまで具体的に見つけられてい
ないので今の回答になったのだと思う。ぜひ、今年
いっぱいくらいまでにそれぞれの課題について
問題を整理し、公民館のあり方について示してい
だきたい。一つの方法として主催事業について
市民のニーズだけでなく、それぞれの公民館が持つ
独自性や、いま、社会で課題となっていることにつ
いて、防災や子育てのことでも結構である。そうい
う重点的な主催事業を洗い直して内容を精査した
ものを示した方がよいと思う。

委 員

ここでは公民館の運営を話しているのであって、
公民館の方針のことではない。ここに集まる人た
ちがどう総意をもってやるかということである。逆に
利用者がどんどんアイデアを出している。公民館の
職員はハード面、ソフト面の両面からバックアップ
してくれている。公民館は実践ということに重点を
置きつつ、みんながより積極的に利用する公民館
運営を考えて行こうではないか。今の委員の方の
ご発言はよくわかる。重要なのは市の方でお金が
少なくなったから仕方がない、でいいのか、そうで
はなくて、これだけのことをやっているのだから
もう少しお金ください、という方が望ましいが、

それをアピールするにはどうしたらよいか、逆にご発言のあった委員さんの経験から教えていただきたい。各公民館長がやりにくい状態になっている。幕張公民館を例にとると幼児から高齢者まで実際に来て利用されている。その点からみて我々自身が逆に考えるべきなのではないか。各館長をはじめ皆さん方が考えることは当然必要であるが、我々ももっと積極的な意見を出していくことも必要ではないか。

議 長 利用する側と提供する側、それぞれの立場で融合させながらよりよい公民館にしていければと思う。いま出た意見を事務局で研究していただき、次回の運営審議会で難題かも知れないが方向性が見いだせればと思う。時間の関係もあるので、平成21年度事業報告について承認してよいか。承認であれば拍手をお願いしたい。

— 拍手を持って承認の意思を表明 —

議 長 承認とする。次に平成22年度事業計画についてご意見を出してください。

— 意見・質問等なし —

議 長 ここについては前回の運営審議会において承認いただいているので、各公民館に置かれては、遅滞無く公民館事業に取り組むようお願いする。

(3) その他

議 長 その他について何かあるか。
笹本館長より 「第51回関東甲信越静公民館研究大会」及び「第62回千葉県公民館研究大会」について、会議資料により概要を説明し参加を呼びかけた。

笹本館長・松尾副館長 参考資料についての説明。

公民館図書室の利用状況について説明。

議 長 質問をもとめたが特になく、審議会の終了を宣言。

第7 閉会のことば(笹本館長) 長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございます

ございました。貴重なご意見をこれからの公民館運営
に参考とさせていただきます。

閉会 12時00分

問い合わせ先 千葉市教育委員会生涯学習部幕張公民館
電話 043-273-7522